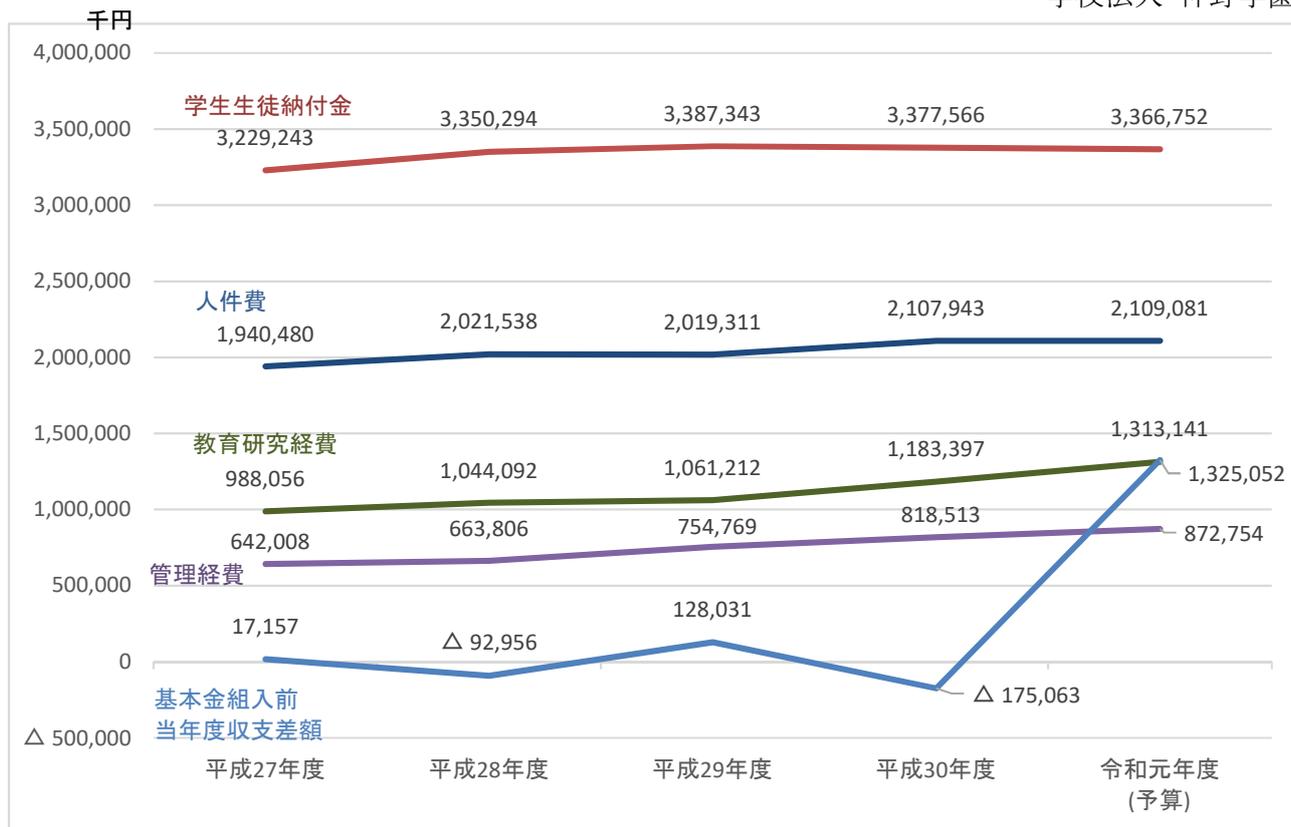


事業活動収支の推移

学校法人 神野学園



(単位：千円)

科目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (予算)
収入	学生生徒等納付金	3,229,243	3,350,294	3,387,343	3,377,566	3,366,752
	手数料	62,797	64,582	54,739	65,714	69,082
	寄付金	15,578	17,914	22,977	22,088	22,084
	経常費等補助金	190,344	208,886	237,617	246,606	259,438
	付随事業収入	101,885	94,699	105,362	111,334	116,207
	雑収入	78,146	94,995	93,277	90,610	48,554
	教育活動収入 計	3,677,993	3,831,370	3,901,315	3,913,918	3,882,117
支出	人件費	1,940,480	2,021,538	2,019,311	2,107,943	2,109,081
	教育研究経費	988,056	1,044,092	1,061,212	1,183,397	1,313,141
	(内減価償却額)	(313,507)	(317,820)	(352,839)	(347,033)	(404,753)
	管理経費	642,008	663,806	754,769	818,513	872,754
	(内減価償却額)	(56,027)	(50,226)	(60,284)	(60,328)	(64,324)
	徴収不能額等	70,000	972	0	0	0
	教育活動支出 計	3,640,544	3,730,408	3,835,292	4,109,853	4,294,976
教育活動収支差額		37,449	100,962	66,023	△ 195,935	△ 412,859
教育活動外収支差額		11,260	3,213	13,510	4,325	△ 10,597
経常収支差額		48,709	104,175	79,533	△ 191,610	△ 423,456
特別収支差額		△ 31,552	△ 197,131	48,498	16,547	1,789,508
予備費		-	-	-	-	41,000
基本金組入前当年度収支差額		17,157	△ 92,956	128,031	△ 175,063	1,325,052

主な財務比率

貸借対照表関係比率

比率 / 計算式	比率からわかること	全国平均	神野学園
純資産構成比率 純資産 ÷ (総負債 + 純資産)	自己資本は充実しているか	87.8%	71.5%
繰越収支差額構成比率 繰越収支差額 ÷ (総負債 + 純資産)	〃	-14.5%	-49.3%
固定資産構成比率 固定資産 ÷ 総資産	資産構成はどうか	86.6%	81.4%
流動資産構成比率 流動資産 ÷ 総資産	〃	13.4%	18.5%
流動比率 流動資産 ÷ 流動負債	短期的な資金バランスは保たれているか	248.3%	204.8%
負債比率 総負債 ÷ 純資産	負債の割合はどうか	13.9%	39.7%

純資産構成比率が全国平均と比較して低く、負債比率が全国平均と比較して高くなっています。今後は負債を圧縮し、財務の健全化を図ります。

事業活動収支計算書関係比率

比率 / 計算式	比率からわかること	全国平均	神野学園
学生生徒納付金比率 学生生徒納付金 ÷ 経常収入	収入構成はどうか	74.7%	85.9%
寄付金比率 寄付金 ÷ 事業活動収入	〃	2.3%	1.1%
補助金比率 補助金 ÷ 事業活動収入	〃	12.5%	5.9%
人件費比率 人件費 ÷ 経常収入	支出構成は適切であるか	53.8%	53.6%
教育研究経費比率 教育研究経費 ÷ 経常収入	〃	33.3%	30.1%
管理経費比率 管理経費 ÷ 経常収入	〃	8.8%	20.8%
減価償却額比率 減価償却額 ÷ 経常支出	〃	11.9%	9.8%
事業活動収支差額比率 基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入	経営状況はどうか	4.9%	-4.2%

学生生徒納付金比率が全国平均よりも高くなっています。今後は寄付金や補助金の確保に努め、学生生徒納付金への依存率を引き下げたいと考えています。

管理経費比率が全国平均よりも高くなっています。管理経費を圧縮して収支を改善します。

全国平均は、医歯系を除く509大学法人の平成29年度決算額から算出した値
『平成30年度版 今日の私学財政』(日本私立学校振興・共済事業団)より